

毛呂山町が目指す 官民連携

埼玉県毛呂山町



1. これまでの取組と課題

2. 現在進行中の取組

3. これからの官民連携事業

毛呂山町とは？



桂木ゆず



流鏝馬

読み方：けろやままち **×** もろやままち **○**

キーワード：「鎌倉街道」「古墳」「**流鏝馬**」「新しき村」
「オートキャンプ場」「埼玉医科大学病院」「湖」「滝」
「遊歩道」「**瀬戸大也**」「**桂木ゆず**」

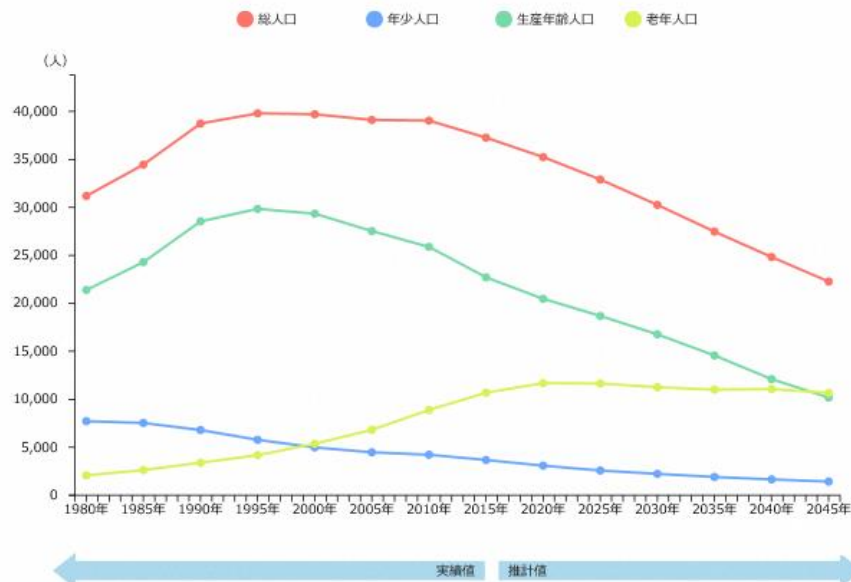
町の人口構成および財政状況

毛呂山町では急速な人口減少とそれに伴う税収の加速度的な減収が予測されている。加えて高齢化率は高まる一方で、2045年には老年人口の割合が生産年齢人口の割合を超える見込みである。

納税者の減少（＝歳入低下）と行政依存度の上昇（＝義務的経費の拡大）による財政圧迫は必至である。

人口推移

埼玉県毛呂山町



【出典】
総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
【注記】
2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。
【その他の留意点】→

※出典：RESAS 総務省・経済産業省「経済センサス」（2015年）

【決算額の推移】（令和元年度は12月末見込の予算額）

（単位：百万円）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳入	町税	10,880	10,513	9,996	9,776	10,210
	国依存財源	3,573	3,615	3,606	3,542	3,445
	その他の財源	4,370	3,839	3,940	3,757	3,976
歳出	義務的経費計	2,937	3,059	2,450	2,477	2,789
	人件費	10,359	10,186	9,645	9,402	10,210
	扶助費	4,449	4,560	4,627	4,541	4,722
	公債費	1,735	1,707	1,747	1,747	1,802
	投資的経費	1,937	2,041	1,997	1,863	1,934
	その他	777	812	883	931	986
歳入－歳出		1,092	1,260	709	498	518
		4,818	4,366	4,309	4,363	4,970
歳入－歳出		521	327	351	374	0

※四捨五入のため、表中の数値とその合計額は必ずしも一致しません。

毛呂山町の一般会計における決算規模は、約100億円で推移しており、歳入は、自主財源の根幹である町税が約35%、国依存財源の占める割合が約38%、地方債などその他の財源が約27%という構造である。一方、歳出は、人件費、扶助費、公債費からなる義務的経費が40%以上である。経常収支比率は90%を超え、歳出における義務的経費の割合は増える一方であるため、町財政の弾力性が低い状況である。

※出典：令和元年度策定「第五次毛呂山町総合振興計画後期基本計画」

町の公共施設等の将来の更新等費用から見たニーズ

毛呂山町では2016年度から2055年度までの40年間に、公共施設の更新等にかかる費用の合計は約340億円と推計され、年平均では約8.5億円となる見込みである。1年当たりの更新等費用は投資的経費実績額の約4.0億円に比べて約2.1億円となる。

そのため、町の破綻を食い止めるためには、

効率的・効果的な公共施設等の整備及び管理運営等を官民連携で推進する必要がある。

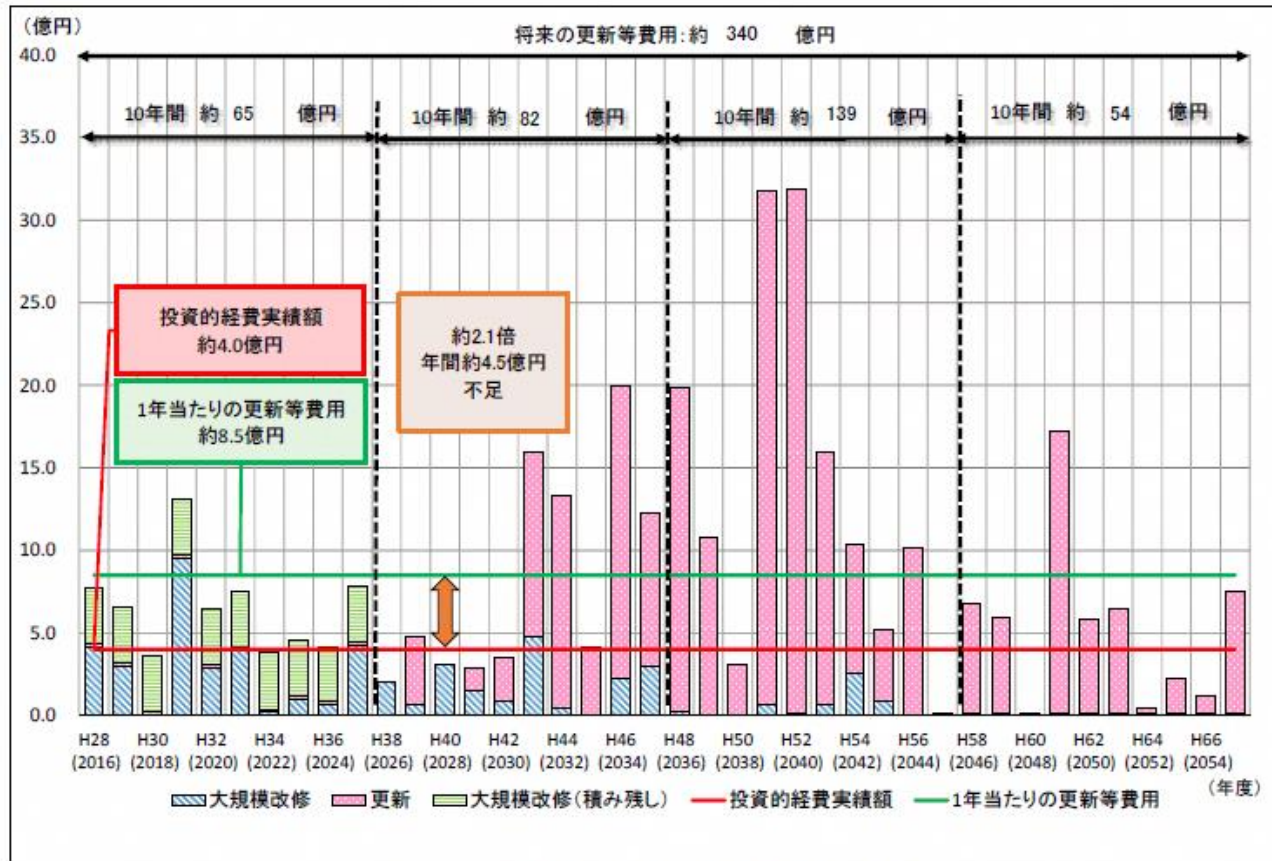


図 2-9 公共施設の将来の更新等費用の推計
※出典:平成28年度策定「毛呂山町公共施設等管理計画」

これまでの取組と課題（総合公園利用検討協議会）



会議の様子

これまでの取組と課題（総合公園利用検討協議会）



視察研修の様子（なぐわし公園、南池袋公園）

これまでの取組と課題（総合公園利用検討協議会）

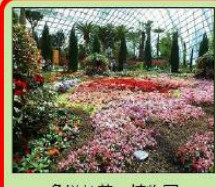
年間を通して
持続的に集客
する必要あり

花蓮と自然

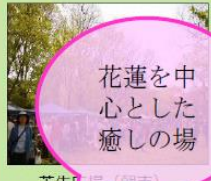


新たなスポーツ

“花蓮と自然の魅力を生かした交流拠点”を構成する施設・設備（一例）



多様な花・植物園



芝生広場（朝市）

花蓮を中心とした
癒しの場



ヨガスペース

“新たなスポーツ拠点”を構成する施設・設備（一例）



ランニング拠点

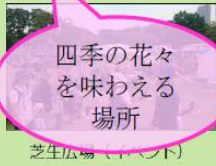


芝生の大滑り台



ボルダリングウォール

四季の花々
を味わえる
場所



芝生広場（イベント）



花蓮

花蓮と自然



花蓮観覧デッキ/散歩道



飲食店や
トイレの整備



巨大アスレチック

シャワー施設
やロッカー
の整備



新たなスポーツ



巨大迷路・ハンモック・丸田渡り



ゴルフ客やハイキング客、テニス客など公園利用者向けの休憩・交流スペース



観光情報発信ブース

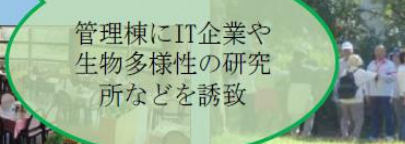


自然と調和したカフェ
(集客性のあるもの)



拠点のコンセプトを強める物販施設
(花蓮・自然・物産・土産物屋
スポーツ・スポーツ関連グッズ等)

管理棟にIT企業や
生物多様性の研究
所などを誘致



健康管理を重視したレストラン

町内の医学部と連携したヘルスケアプログラムの導入



びよんびよんドーム
(特殊素材でできた遊具)

花蓮やまつり関連のものの展示・販売、ギャラリーの設置

店自体に魅力があること・有名な企業

毛呂山で有名なものの販売や飲食が可能なお場所 (+PR発信)

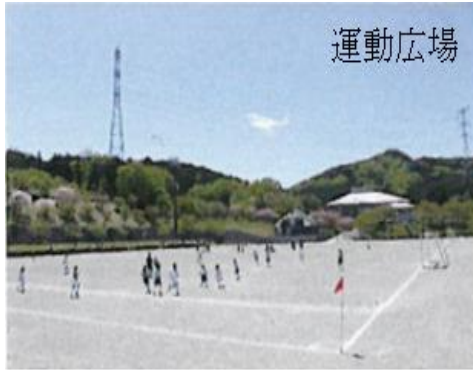
ランニング関連グッズの販売

6次産業

何をやるにしても、住民の負担にならないことが大切

協議会で出された意見

これまでの取組と課題（総合公園利用検討協議会）



★総合公園利用検討協議会の結論★

総合公園は民間活力を活用し、利益を創出する施設として再整備する方針を決定！

- ・ 協議会の方針を基に民間企業とサウンディングを開始
- ・ 100社近い企業とのサウンディングをしたが、事業化の糸口すら掴めなかった。



- ・ 国交省の支援を受け、町の情報やWebアンケート、モバイル空間統計等をまとめたサウンディングツールを作成し再度、サウンディングを開始した。

これまでの取組と課題（先導的官民連携事業）

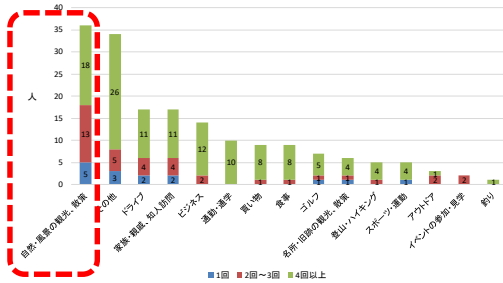
毛呂山町来訪者調査 WEBアンケート結果概要

誰が、どこから、どのように、何の目的で、誰と来訪したのか？などをWEBアンケートにより把握。

毛呂山町を訪れる主な目的

毛呂山町を訪れる主な目的別に比較した場合、「その他」の「通院・病院・お見舞い」などを目的として毛呂山町を訪れる人が多い。また、訪れる頻度・回数も多い。
 「自然・風景の観光、散策」を目的として訪れる人も多く、訪れる頻度も多い。

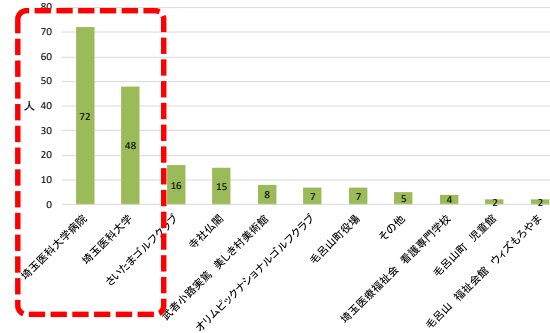
(回答者数=175人)



毛呂山町を訪れる目的「その他」の詳細

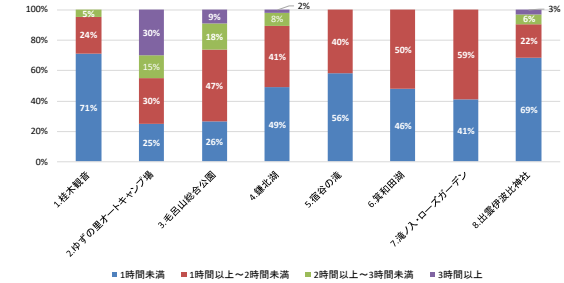
「埼玉医科大学病院」「埼玉医科大学」が他の場所と比較して多くの人を訪れる場所がある。

(回答者数=175人、回答数=186)



観光地における滞在時間

「1. 桂木観音」「8. 出雲伊波比神社」は、滞在時間が「1時間未満」の割合が高い。「2. ゆずの里オートキャンプ場」「3. 毛呂山総合公園」は、滞在時間が「2時間以上」「3時間以上」の割合が、他の観光地と比較して高い。

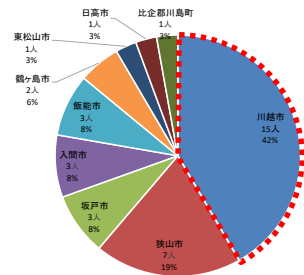


「自然・景観の観光、散策」を主な目的として来訪している。

毛呂山町を訪れる主な目的

「自然・風景の観光、散策」を目的として毛呂山町を訪れたことがある人の居住地で最も多かった市町村は「川越市」で約4割を占める。

(「自然・風景の観光、散策」を選択した回答者数=36人)



「自然・景観の観光、散策」を主な目的として来訪している人の居住地などを把握。

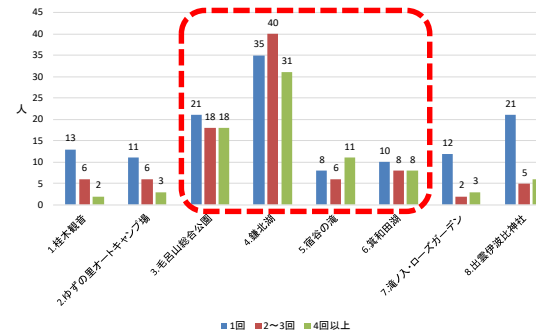
⇒隣接する市町村ではなく「川越市」が多数。

「その他」来訪の目的の多くが ⇒埼玉医科大学病院と回答。(通院・お見舞いなど)

訪れたことがある「観光地」と「訪れた回数」

アンケート回答においては、「4. 鎌北湖」は「訪れたことがある観光地」のなかでも最も来訪者数が多い。また、2~3回訪れる人が多く、リピーターが多い観光地ともいえる。

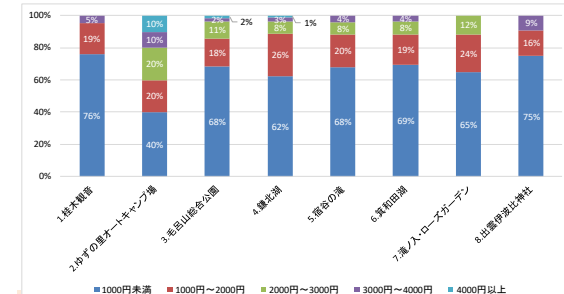
(回答者数=175人)



「鎌北湖」をはじめとして、「毛呂山総合公園」「宿谷の滝」「箕和田湖」は、リピーターの観光客が多い。

観光地における滞在時間

いずれの観光地においても「1000円未満」が多くを占める。一方、ゆずの里オートキャンプ場では、他の観光地と比較して平均的な支出金額が高く、その割合も多い。



ゆずの里オートキャンプ場は、他の観光地と比較して客単価が高く、潜在的な顧客といえる。キャンプ場に訪れる観光客を呼び込むことにより、更なる利用料・サービス料収入の向上が期待される。

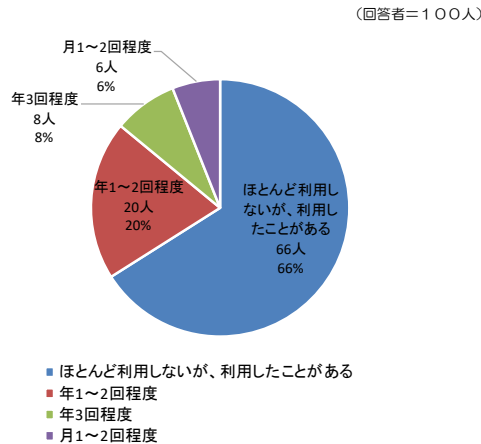
これまでの取組と課題（先導的官民連携事業）

毛呂山総合公園利用者調査 WEBアンケート結果概要

利用者の属性や利用実態、動向・意向（利用状況、利用している理由、満足度、改善要望）等を把握。

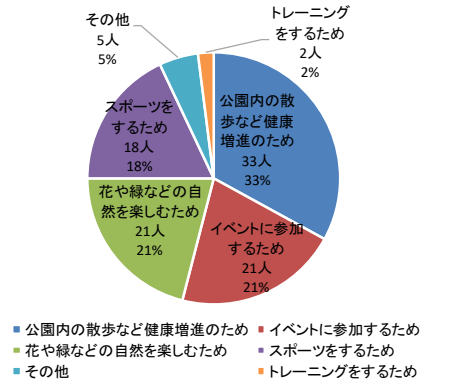
毛呂山総合公園利用者の公園利用状況

毛呂山総合公園を利用する頻度として、「ほとんど利用しないが、利用したことがある」が66%、「年1～2回程度」が20%、「年3回程度」が8%、「月1～2回程度」が6%を占めている。



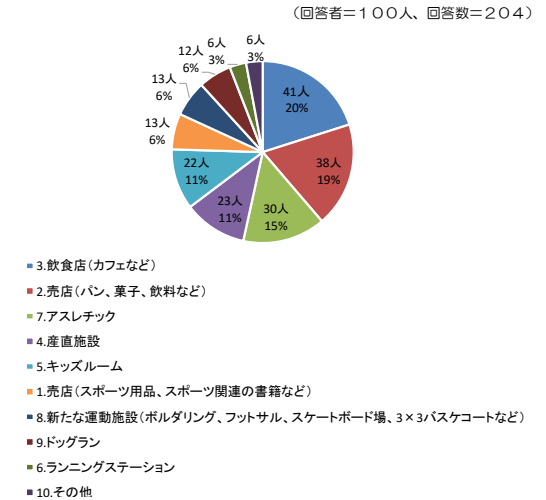
公園利用の目的

「公園内の散歩など健康増進のため」「イベントに参加するため」等の目的で利用する人が5割を占める。
「花や緑などの自然を楽しむため」「スポーツをするため」等の目的で利用する人が約4割を占める。



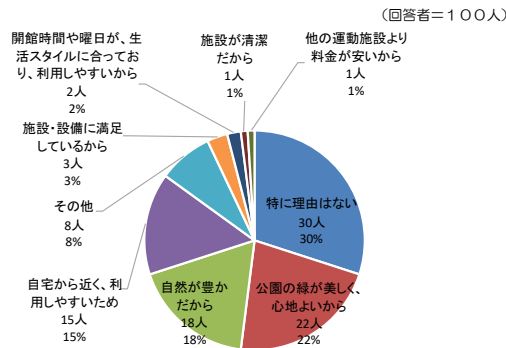
利便性・満足度を高める上で良いと思う施設

公園の利便性・満足度を高める上で良いと思う施設として、「飲食店（カフェなど）」「売店（パン、菓子、飲料など）」「アスレチック」が上位を占める。



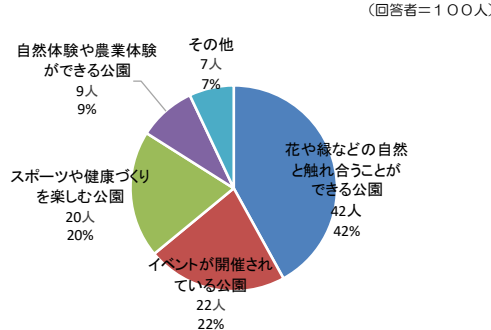
公園を利用する理由

「公園の緑が美しく心地よいから」「自然が豊かだから」など、公園の自然（緑地）が魅力と感じ、公園を利用する人が約4割を占める。



どのような公園であればより公園を利用したいか

「花や緑などの自然と触れ合うことができる公園」と回答した割合は約4割を占める。「イベントが開催されている公園」「スポーツや健康づくりを楽しむ公園」と回答した割合は約2割を占める。



毛呂山総合公園において改善して欲しいこと

「くつろげるスペースの整備」「売店や飲食施設などの施設の充実」「子供が遊べるスペースの設置」が改善して欲しいことの中でも要望が多い。

(回答者数=100人、回答数=181)

改善事項の選択項目	回答数
13.くつろげるスペースの整備	24人
12.売店や飲食施設などの施設の充実	23人
11.子供が遊べるスペースの設置	22人
10.イベント等の更なる誘致・開催	16人
14.ベンチなどの設置	16人
5.駅などからの送迎サービスなど、交通アクセスの改善	15人
7.スポーツ教室・運動プログラムの開催	13人
8.施設・設備・用具の更新と更なる充実	12人
9.予約・申請手続きの簡素化	8人
4.施設利用時間の深夜延長	7人
6.施設利用料金の改定	7人
1.月曜日も開館日にしてほしい	6人
2.年末年始も開館日にしてほしい	4人
3.施設の早朝開館の実施	4人
15.災害時にも避難できる公園としての機能の充実	3人
16.その他	1人

これまでの取組と課題（先導的官民連携事業）

観光地における周辺人口について 「モバイル空間統計データ」にみる周辺人口の状況

「モバイル空間統計」とは

携帯電話ネットワークは電話やメールなどを利用できるように、各基地局のエリアごとに所在する携帯電話を周期的に把握しています。この仕組みを利用して携帯電話の台数を集計し、地域ごとにドコモの普及率を加味することで人口を推計することができます。

※推計された人口についての留意点

各基地局のエリアごとに所在する携帯電話を集計しているため、把握したいエリアのみでなく、その他のエリアの携帯電話の台数も含まれています。

また、推計人口の中には、周辺の住宅地に在宅している人の携帯電話の台数も含まれている可能性があります。



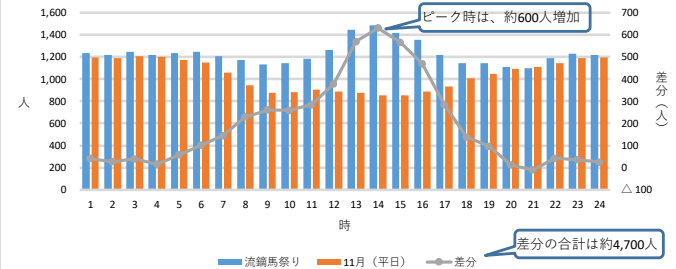
情報を取得した周辺の観光地（総合公園も含む）

※「年代別人口」「市町村別人口」については、一時間あたりの推計人口の値が大きく異なる場合がありますが、データ取得・データ処理の過程で生じるもので、誤りではありません。

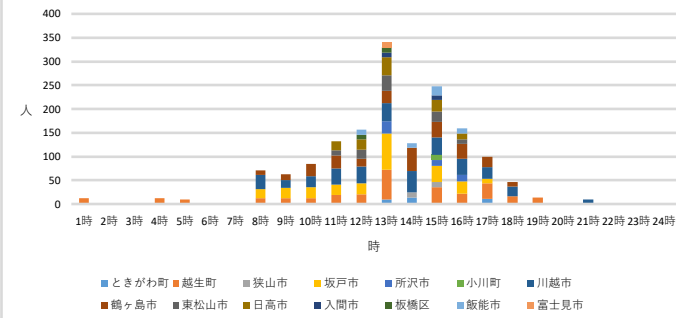
出雲伊波比神社 【流鏝馬祭り当日の周辺の年代別人口】

- ・「流鏝馬祭り当日」と「11月（平日）」の周辺人口の比較では、祭り当日の人口のピーク時は、11月（平日）の同じ時間と比較して約600人以上増加している。
- ・同じ月（11月）の平日の周辺人口との差分の合計は、約4,700人。

流鏝馬祭り当日と11月（平日）の周辺人口の比較

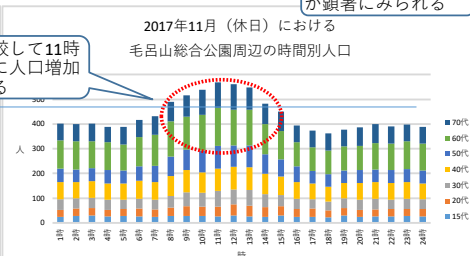
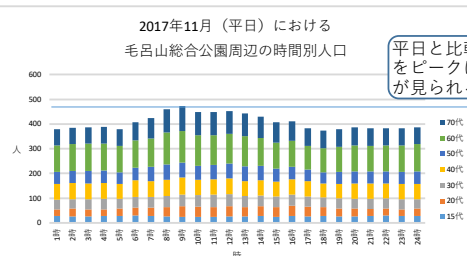
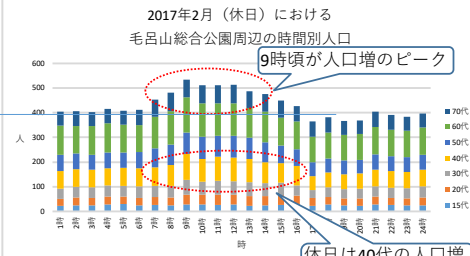
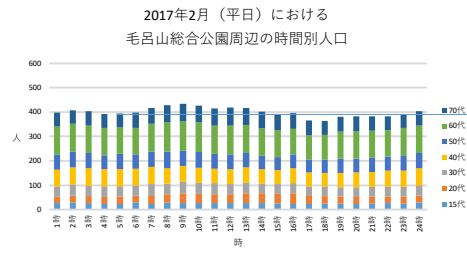


流鏝馬祭り当日の時間別人口【他市町村のみ】

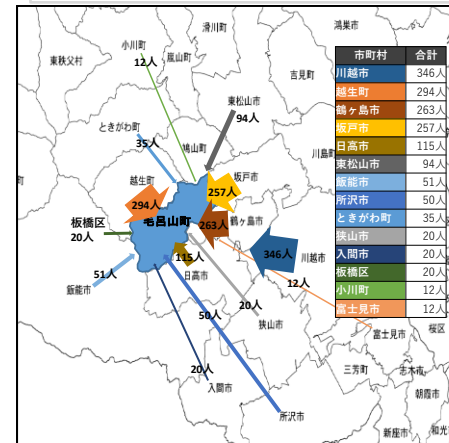


毛呂山総合公園 【平日と休日における年代別人口】

- ・休日は平日と比較して周辺人口が増加している傾向が見られる。
- ・2017年11月（休日）は、11時台をピークに人口増が確認される。



11月は、毛呂山総合公園において「産業まつり」を開催するため、特に周辺人口が多くなっている。



11月3日の出雲伊波比神社周辺の人口推計データの内、他市町村のみの人口を集計した結果、

- 「川越市」 346人
- 「越生町」 294人
- 「鶴ヶ島市」 263人
- 「坂戸市」 257人

の順で来訪者数が多いことが確認された。

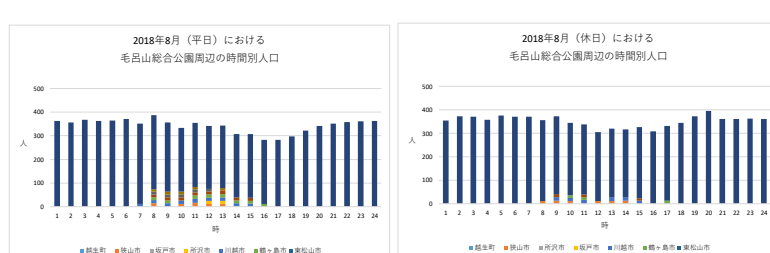
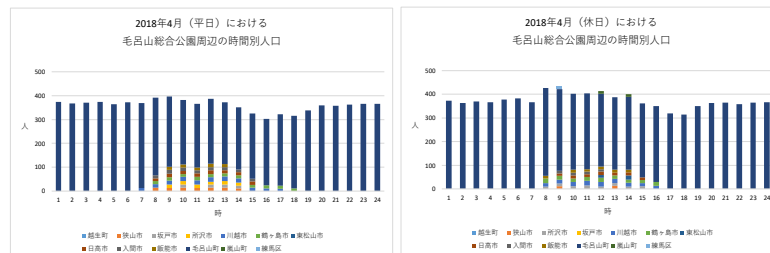
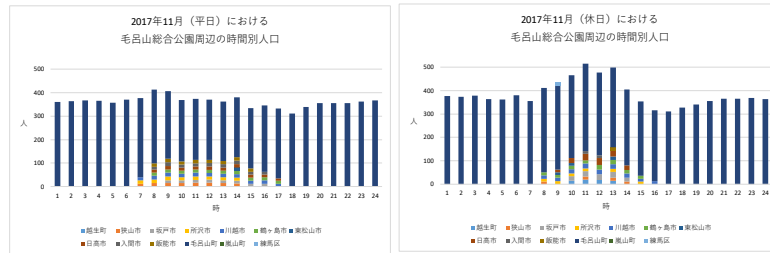
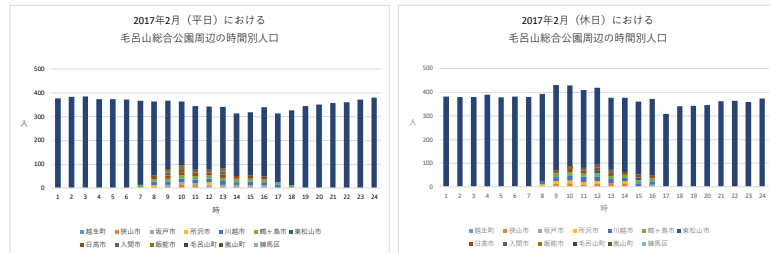
これまでの取組と課題（先導的官民連携事業）

観光地における周辺人口について 「モバイル空間統計データ」にみる周辺人口の状況

毛呂山総合公園 【市町村別の人口】

・毛呂山総合公園の周辺人口を市町村別に見た場合、毛呂山町民が多くを占める。

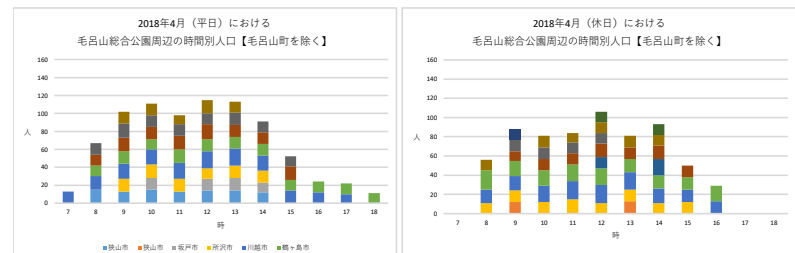
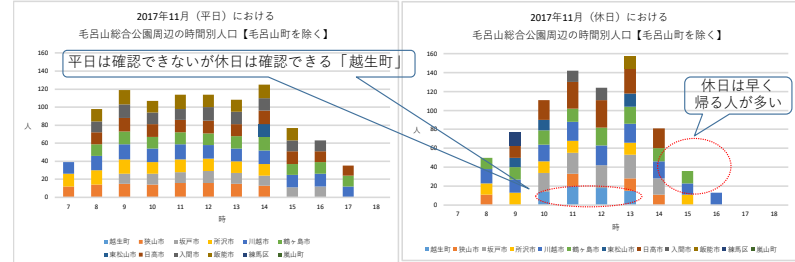
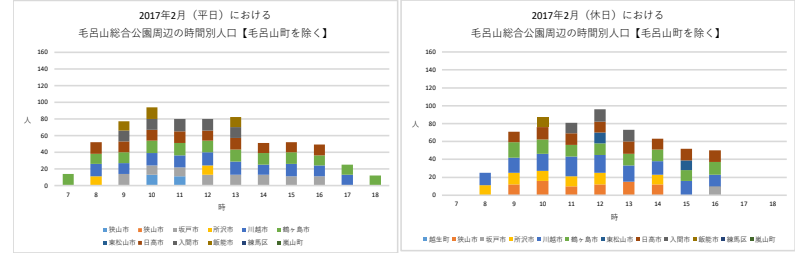
平日・休日ともに、周辺人口の多くを毛呂山町民が占めるものの、他市町村からの人口流入が全体を押し上げ、8時～15時頃の人口のピークを作ることが確認できる。



毛呂山総合公園 【他市町村の人口（毛呂山町を除く）】

- ・休日は平日より人口が多い月もあれば、人口が少ない月もある。
- ・休日のみに確認できる市町村などもある。

総合公園周辺には、広い範囲からの他市町村の人口が流入しており、平日・休日ともに一定数の人口が確認できる。



これまでの取組と課題（先導的官民連携事業）

- ツールの効果もあり、数社と事業への参入を阻害する要因や課題の整理を行った。



- インセンティブ向上策を踏まえた事業スキームの検討が必要。



- 国土交通省の専門家派遣によるハンズオン支援により、課題を検討しつつ、基本構想や募集要項等を策定中。

1. これまでの取組と課題

2. 現在進行中の取組

3. これからの官民連携事業

現在進行中の取組（総合公園にて東洋大学との社会実験）



★総合公園での社会実験★
町民の皆様の声を
直接サウンディング！



現在進行中の取組（街なか都市公園での更なる挑戦）



都市公園の徹底活用を通じ、
エリアの資源を動かす！

参考：東洋大学との社会実験@前久保中央公園



楽しいところには、人が集まる！
楽しいからこそ、人は挑戦できる！



参考：スマートシティとは？

生産年齢人口を
テクノロジーで補うことが
短期的な目的⇒地域

他自治体への横展開が
中期的な目的⇒国

アジア諸国への横展開が
長期的な目的⇒世界

毛呂山町スマートシティ先行モデル事業（毛呂山町）

民間主体のまちづくり会社による新技術を活用した事業展開で、小規模自治体における持続可能な地域づくりに資する社会システムを構築

- ### 目標
- ・毛呂山町新規進出企業数：10社（2030年）
 - ・目白台における自家用車依存率：76%→60%（2030年）
 - ・義務的経費比率：48.5%未満を実現（中期財政計画・2024年）

取組概要

自動運転バス	飛び地のニュータウンであり、鉄道駅徒歩圏外である目白台地区に、独立採算による鉄道駅までの自動運転バスを実装し、中山間地域等への展開も検討
農業生産性向上	無人型作付けや収穫を実現する自動耕作や鳥獣監視及び対策のドローンで農業生産性を向上
持続可能エネルギー	再生可能エネルギーや蓄電池により日常利用と被災停電時非常利用可能な電力分散自律化を地域グリッド化も目指し推進
行政効率化	RPAの導入等、先端自動化技術による公共サービス効率化及び収益性改善を実現
IoT基幹インフラ	官民データを活用にむけ、IoT基盤として既存通信網や埼玉県が整備したLPWAを活用し、各種端末との連携を進める

将来像

町役場等でのRPA導入

目白台地区

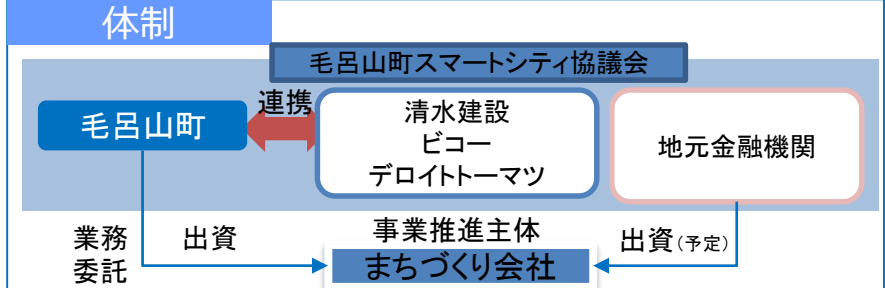
持続可能エネルギー

自動運転バス

自動耕作・農業ドローン

IoT インフラ（既存通信網・LPWA等）

※2020年4月現在F/S中の事業も含む



1. これまでの取組と課題

2. 現在進行中の取組

 3. これからの官民連携事業

町民の視点

社会実験を通して分かったこと

都市公園は、町民一人一人がもっと使えるべきだ！



社会実験やワークショップを通して、町民にとってより良い公園になるように検討

行政の視点

現在本町において検討を進めていること

都市公園は、もっと活用されるべき！

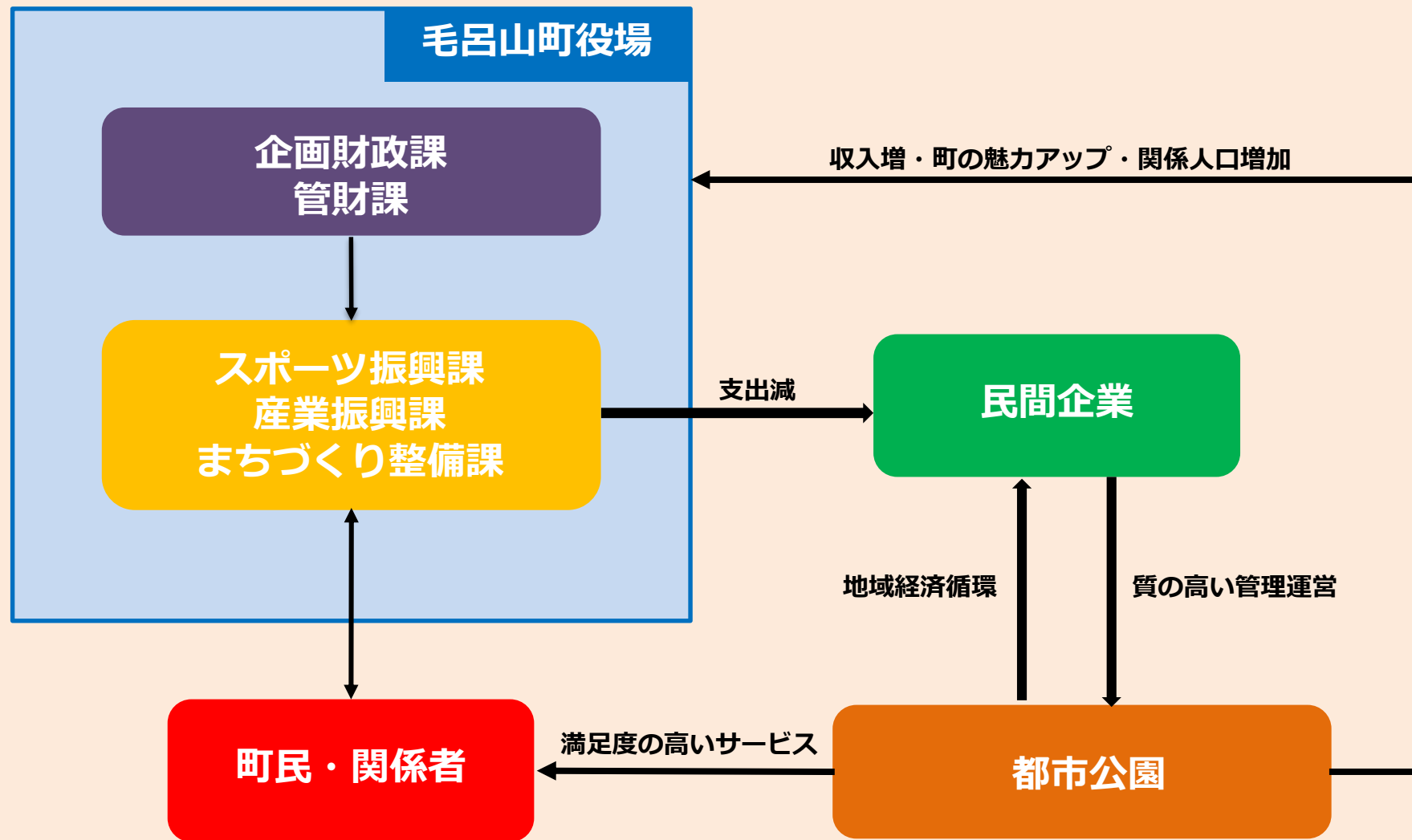


民間企業、周辺大学等とのサウンディングを通して、インセンティブ等を検討

都市公園は、関わる全ての人にとっての利益につながるべき！

これからの官民連携事業

毛呂山町の目指す官民連携事業



毛呂山町の挑戦は、
まだ始まったばかりです！

今後の毛呂山町の取り組みに
ご期待ください！

毛呂山町 まちづくり整備課 都市計画係
049-295-2112（内線152）
mati@town.moroyama.lg.jp